

平成28年度

精華高等学校

学校評価結果報告書

- ① 自己評価
- ② 保護者評価
- ③ 関係者評価
- ④ 総合評価（校長評価）

平成29年5月12日

学校評価委員会

(1) 学校自己評価結果報告

今年度の重点テーマ

- 【学 校 運 営】 地域社会から信頼される学校運営
- 【教 育 内 容】 生徒の学力の確実なレベルアップ
- 【生 徒 指 導 ・ 支 援】 懇切ていねいな指導
- 【教員研修 ・ 資質向上】 教職員の資質向上による教育の充実

目標および評価指針 (Plan)

- 1 建学の精神に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導をしっかりと行い、生徒の基本的な生活習慣の確立、マナーの向上をめざす。
- 3 各コースの教育内容を更に充実させ、落ち着いた授業のもと、生徒一人一人の個性を活かした教育を行う。
- 4 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。
- 5 特進選抜・総合コースを中心に、大学進学実績の向上に取り組む。

中期的目標として (Do)

- 1 コース制の更なる充実。特進共通コースにおいては、学び直しシステムの確立、転・退学生徒の減少をめざす。
- 2 特進選抜コースでは、大学進学実績の更なる充実を図る。また、特進選抜コース入学者の増加と共に、特進共通コースからの転コースを加え2クラス展開できるようにしたい。
- 3 IT総合コースでは、コースの特徴を更に強化し、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。
- 4 環境福祉コースにおいては、現在評価が高い保育所や幼稚園・こども園、また、高齢者施設での交流を引き続き充実させる。また、環境保全や福祉に対する高い意識を持った生徒を育成し、社会に貢献する力を育む。
- 5 スポーツ健康コースでは、スポーツを通じて文武両道に優れた人材を育成する。
- 6 特進総合コースは、大学進学に力を入れると共に、コース独自の特徴を持たせるために検討を重ねる。
- 7 グローバル化の進展に伴い、本校の弱点である国際理解教育に取り組む。
- 8 強化クラブである吹奏楽部を中心に、運動部・文化部の活性化を図る。また、それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 9 学校施設・設備の充実、また老朽化した校舎・トイレの改装に引き続き取り組み、清潔・安全な学校をめざす。それに伴い、生徒の美化意識を高める。
- 10 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制の確立を急ぐ。

※ 平成28年度 精華高等学校 学校経営計画および学校評価に準じての設定
(大阪府教育庁私学課へ提出)

達成状況 (Check)

■ 学校運営

私学の独自性

* 建学の精神 (教育目標) について

〔設問〕 建学の精神 (教育目標) が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 44%

推移) ①65% ②66% ③63% ④72% ⑤40% ⑥35% ⑦45%

* 愛校心について

〔設問〕 教職員、在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 32%

推移) ①66% ②68% ③63% ④65% ⑤43% ⑥35% ⑦43%

教育課程

* 学習指導要領の対応状況

〔設問〕 教育課程は学習指導要領に沿っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 87%

推移) ①88% ②89% ③96% ④84% ⑤78% ⑥93% ⑦90%

〔設問〕 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89%

推移) ①92% ②92% ③96% ④93% ⑤91% ⑥91% ⑦93%

教職員連携

* 教員・教科間連携状況

〔設問〕 教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 47%

推移) ①71% ②72% ③65% ④77% ⑤52% ⑥33% ⑦48%

* 教員と事務職員の連携状況

〔設問〕 教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ①63% ②49% ③70% ④58% ⑤59% ⑥42% ⑦50%

* 会議の有効性

〔設問〕 教職員会議をはじめ各種会議が、有効かつ効率的に機能している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 29%

推移) ①71% ②70% ③55% ④58% ⑤39% ⑥33% ⑦23%

財務関係

* 財務に関する意識

〔設問〕学校の経営指標と財務状況について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 13%

推移) ①46% ②36% ③30% ④49% ⑤46% ⑥26% ⑦18%

* 評議員・理事会機能について

〔設問〕評議員会、理事会の役割や機能について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18%

推移) ①31% ②23% ③18% ④14% ⑤22% ⑥7% ⑦25%

情報公開

* ホームページの活用状況

〔設問〕学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 69%

推移) ①56% ②51% ③69% ④88% ⑤78% ⑥84% ⑦75%

* 授業公開状況

〔設問〕保護者などへ授業を公開している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 80%

推移) ①73% ②74% ③80% ④84% ⑤78% ⑥70% ⑦80%

危機管理

* 役割分担について

〔設問〕事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 80%

推移) ①77% ②70% ③73% ④84% ⑤83% ⑥72% ⑦80%

* 危機管理対応状況

〔設問〕危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 62%

推移) ①83% ②79% ③60% ④84% ⑤63% ⑥61% ⑦61%

開かれた学校づくり

* 地域交流について

〔設問〕地域や地域住民との交流ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 49%

推移) ①73% ②77% ③79% ④56% ⑤57% ⑥44% ⑦52%

今後の改善方策(Action)

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。

学習指導要領の対応状況は高評価。更に肯定率を上げたい。年度当初のシラバス作成は引き続き行う。

教員・教科間連携が低い評価である。信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。

財務関係および評議員・理事会機能については、理事会で方策を考える必要がある。

ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを、推し進める。今年度、授業公開は学校関係者にも広げて行く。また、学校の危機管理体制を、更に強化する。

■ 教育内容

情報教育

* 情報能力育成

〔設問〕生徒の情報活用能力の育成を図っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ①65% ②68% ③72% ④72% ⑤44% ⑥40% ⑦39%

* 情報モラル指導

〔設問〕情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 36%

推移) ①67% ②60% ③58% ④67% ⑤37% ⑥44% ⑦39%

人権教育

* 研究体制

〔設問〕人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を、教員が研究する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 22%

推移) ①50% ②40% ③49% ④54% ⑤41% ⑥37% ⑦30%

* 教育体制

〔設問〕人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 27%

推移) ①54% ②46% ③43% ④58% ⑤41% ⑥44% ⑦45%

環境教育

* 環境問題意識向上

〔設問〕ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 25%

推移) ①52% ②64% ③47% ④56% ⑤33% ⑥37% ⑦23%

* 実践的態度の育成

〔設問〕生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51%

推移) ①58% ②71% ③57% ④56% ⑤54% ⑥44% ⑦32%

健康・食育

* 健康・食に関する指導について

〔設問〕健康教育、食育などにも配慮している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 9%

推移) ①42% ②34% ③23% ④33% ⑤33% ⑥9% ⑦16%

生徒会活動

* 生徒会活動支援状況

〔設問〕生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるように学校全体で支援している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 36%

推移) ①60% ②53% ③60% ④67% ⑤35% ⑥19% ⑦22%

その他

* 読書推進

〔設問〕図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 29%

推移) ①31% ②36% ③49% ④46% ⑤52% ⑥21% ⑦34%

* 部活動

〔設問〕部活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51%

推移) ①77% ②87% ③54% ④61% ⑤65% ⑥44% ⑦52%

* ボランティア

〔設問〕ボランティア活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 27%

推移) ①56% ②45% ③55% ④49% ⑤41% ⑥30% ⑦36%

* 学校行事

〔設問〕体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 65%

推移) ①79% ②72% ③67% ④74% ⑤74% ⑥54% ⑦71%

* スポーツ・芸術文化

〔設問〕スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 53%

推移) ①79% ②75% ③62% ④72% ⑤61% ⑥65% ⑦75%

* 国際理解

〔設問〕他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18%

推移) ①40% ②34% ③11% ④14% ⑤9% ⑥14% ⑦36%

今後の改善方策(Action)

情報教育については、近い将来のICT教室の設置を見据えて、充実させて行く。人権教育の、研究体制や教育体制については抜本的に考え直す必要があるのかも知れない。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、トイレのリニューアルに伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。

健康・食育に関する指導については、食堂の抜本的な改革が必要な時期に来ている。

生徒会活動の活性化については、校務分掌を見直すことにより、学園祭の充実を目指したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。部活動の活性化は本校の重要な柱として位置づけている。学校として支援する体制を強化したい。

■ 生徒指導・支援

生徒指導

* 指導方針の一貫性

〔設問〕生徒指導は学校の方針に従っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 76%

推移) ①96% ②96% ③90% ④93% ⑤78% ⑥81% ⑦78%

* 生活指導について

〔設問〕生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 71%

推移) ①94% ②90% ③90% ④88% ⑤70% ⑥72% ⑦82%

* 家庭との連携状況

〔設問〕生徒指導において、家庭との連携ができています。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 87%

推移) ①90% ②89% ③94% ④93% ⑤91% ⑥84% ⑦82%

生徒支援

* 学習指導について

〔設問〕学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 73%

推移) ①83% ②79% ③73% ④79% ⑤65% ⑥54% ⑦61%

* カウンセリング体制

〔設問〕カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。カウンセラーの活用ができています。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 65%

推移) ①75% ②68% ③65% ④86% ⑤63% ⑥58% ⑦64%

* 進路指導について

〔設問〕生徒一人ひとりの興味・関心・適性に合った進路選択ができるような支援体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 60%

推移) ①81% ②77% ③83% ④72% ⑤61% ⑥75% ⑦77%

今後の改善方策(Action)

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。更に期待に応えられる体制を整えて行く。進路指導についても、生徒の多様な進路に答えられるきめ細かい指導を堅持したい。ただ、進路指導について保護者評価が低いことの分析は必要である。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

■ 教員研修・資質向上

教員研修

* 教員の資質向上について

〔設問〕教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ①23% ②28% ③47% ④58% ⑤61% ⑥42% ⑦50%

* 校内研修

〔設問〕効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 38%

推移) ①48% ②41% ③54% ④75% ⑤63% ⑥51% ⑦64%

* 初任者のサポート状況

〔設問〕初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 45%

推移) ①33% ②29% ③49% ④58% ⑤44% ⑥42% ⑦43%

* 校外研修

〔設問〕 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 42%

推移) ①43% ②39% ③44% ④51% ⑤33% ⑥35% ⑦32%

* 研修成果の共有状況

〔設問〕 研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 20%

推移) ①19% ②25% ③23% ④30% ⑤22% ⑥14% ⑦18%

今後の改善方策(Action)

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。長期休業中の教員研修の回数を増やす必要がある。

※ 調査結果の%表示については、すべて小数点以下を四捨五入した数値である。

(2) 保護者対象学校評価結果報告

1 調査の目的

- ① 学校に対する意見・要望、満足度を把握する。
- ② 保護者・教員間の連携を強化し、生徒の学校生活に活かす。

2 実施方法

平成29年2月15日に担任より、各家庭に配布。2月24日を期日として回収終了。調査は無記名。回収は405件。意見書提出62名。

各項目を以下の4段階にて評価。A Bを肯定的評価 C Dを否定的評価とする。

A よくあてはまる

B ややあてはまる

C あまりあてはまらない

D まったくあてはまらない

※ 評価できない項目については空欄での提出を可としている。

3 結果報告

① アンケート結果

別表にて通知させていただきます。

② 〔ご意見・ご要望〕

〈 学校生活全般について 〉

- ・ 中学時代は、余り勉強もせず、積極的に学校生活を送ろうとはしませんでした。先生も放置状態でした。高校生活を順調に送れるかを心配していましたが、精華高校の先生方は根気強く教えていただいているという思いです。
- ・ 部活動は、全国レベルでどれくらいの実力があるのか知りたい。
- ・ 担任の先生は子どもの性格を良くわかってくださっているのでありがたい。またコミュニケーションも良く話しやすい。社会生活に必要なことを教えてくださり、子どもの成長にプラスになっていると思います。ただ授業でうるさくしていたり、寝ていても注意されない先生もいらっしゃるようです。残念です。改善をお願いします。
- ・ 授業態度の悪い生徒に対して体罰があるように聞きます。体罰での指導は絶対に反対で

す。高校生ですので、何が良くて何が悪いかは話しをすれば解ります。力で押しえつけないのではなく話しを聞いた上で指導してください。

- ・いつも楽しく学校に通っています。先生方の理解もあり、今後も頑張っ学校生活を送ってくれることと思います。
- ・担任が不在で直接話が出来ないときの伝言が通じていないことがあった。窓口も忙しいと思うが、大事なことなのでしっかり繋いでいただきたい。
- ・特に期待もないし、言うこともありません。
- ・部活動の休みを増やしてほしい。
- ・授業の内容を聞くととても残念な先生も多いようです。勉強できない子や勉強をしない子も多いと思いますが、学力が伸びるように、子どもの可能性を伸ばしてください。
- ・強制的な検定受検はどうかと思う。2年次のコース選択で検定試験のために行きたいコースに行けない子が多いと聞いている。
- ・学校ホームページについて、案内ばかりで、学校の様子が全く伝わってきません。
- ・運動会の京セラドームは遠すぎていけない。
- ・子どもを見てみると、学校生活は楽しそうで、学習面でも充実してると思います。お世話になって良かったと感じています。
- ・留学生などを迎え、交流をしてほしい。
- ・クラブの先生から、勉強も両立させると言っていたけど、安心してお任せできています。指導のおかげで元気に通学できています。先生方の心遣いに感謝します。
- ・優しい先生と厳しい先生の差が激しい。
- ・クラブ活動で問題があり退部しました。指導は難しいですが残念です。考え方に問題のある生徒でもしっかりと理解して、観察してほしいものです。
- ・服装や頭髪の指導は厳しいですが、学校生活を楽しんでます。これから進路決定に心配もありますが、しっかりと指導をお願いします。
- ・私立の学校なのに、清潔感のない教員がいて残念に思う。生徒の制服はすばらしく上品で、きちんとすれば見栄えがよいのに、乱れている生徒が多い。学校のレベルが一部の生徒のために低く見られるのは残念である。指導する教員が先ず身なりに気を付けるべきであると思う。
- ・高校入学以来、学業の面からも成長してます。自信を持つようになり、前向きに取り組むようになりました。
- ・子どもが喜んで参加する文化祭にしてほしい。
- ・年間行事予定表をもう少しわかりやすくしてもらいたい。
- ・学年や教員により指導や対応に違いが著しいと思います。全ての人納得できることは難しいと思いますが、入学して学んでいる生徒や家族が疑問を持つような対応がないことを願います。
- ・意見を書いても何をどのように役立ててもらえているのか、変わったのかがわかりません。授業も静かでない状態の時もあるようです。どう考えられているのですか。その他問題点も多くあるように思います。先生方が気付くところから改善していくべきだと考えます。
- ・担任の先生方には、子どもを個別に見て指導していただいていると思い、喜んでます。また病欠連絡の際の電話対応も良く、気持ちが良いです。子どもたちが精華高校に来て良かったと思えるような指導をお願い致します。
- ・精華高校に入学して成績が伸びました。授業もわかりやすく、いろいろな取り組みが生徒によい影響が出ています。学校生活が楽しそうに過ごしているので、入学できて良かったと思います。

- ・教科担当の教員の字がきたなかったり、何を言っているのかが聞き取りにくいということ子どもから聞きます。担任の先生にも話しをしたが改善されていないようである。生徒がやる気にならないような授業では困る。大学進学を考えているので対処お願いします。先生方が生徒のお手本になるような態度を日々心掛けてください。
- ・今のままの学校でよいと思います。
- ・子どもの態度や表情で何とか楽しめているのだなと思えています。入学させて良かったと思います。
- ・学習に励む姿勢は意識だけではなかなか継続できません。そのあたりの指導をお願いします。
- ・2年間担任の先生に恵まれました。良かったです。
- ・担任の先生の気分で学級内のルールが変わるらしいです。
- ・行事の際、受付の先生の態度や挨拶に驚きました。人間先ず挨拶からだと思います。
- ・数名の先生の授業が全くわからないそうです。そんなわからない授業を受けてのテストに意味があるのかと思います。
- ・教員と生徒の仲が良く、楽しそうでよい環境だと思います。
- ・最初は馴染めるか不安でしたが、担任から懇談会などで声をかけてもらい、馴染んでくれました。中学校も良い先生ばかりでしたが、高校の先生も多少厳しさはありますが、入学させて良かったと思います。

〈 学校危機管理について 〉

- ・緊急時における学校の対応にはとても感心しています。
- ・クラブ活動中の貴重品管理のため保管庫や防犯カメラ等で対策してほしい。
- ・いじめ等が起こらない環境にしてください。
- ・海外研修中のホームページの更新が大変遅く、数も少ない。海外でもあるので心配になる。小中学校ではリアルタイムに報告があった。不安を感じる。携帯電話を禁止にするなら、学校が責任を持って保護者に安心を届けるべきである。

〈 進路指導・生徒指導について 〉

- ・大学見学会を増やしてほしい。子どもの興味が湧き、進学意欲が高まると思います。
- ・携帯電話について、現行のルールは不便さを感じます。ルールを決めて持ち込みが出来るようにしてほしい。震災などが心配ななか、緊急の際の家族の安否確認など、学校は対応できるのですか。
- ・ホームページに載る台風の連絡等には携帯電話が必要です。即時性や緊急性に対応できていない。親も子どもに連絡する手段がない。携帯電話は便利なツールであるはず。要は使い方次第ではないか。現行のルールは生徒を馬鹿にしている。自由と自立を併せ持つ指導にしてください。
- ・服装や頭髪について、厳しく指導していただき安心していきます。
- ・頭髪が長いものは良くないと思うが、短髪にまで規制をかけるのはどうかと思う。
- ・自転車通学者のリックやサブバックを認めてほしい。
- ・居残り指導が嫌のようです。違ったペナルティ方法を考えていただきたい。遅刻は少ないですが、通学距離が遠いこともあります。
- ・頭髪改善について、色が変わっても毎回の毛染めは止めてほしい。

〈 学校環境・設備について 〉

- ・大震災が各地で発生してる。精華高校の耐震は大丈夫なのか。緊急の際は、避難所として機能するのか。
- ・グラウンドが狭いのが残念です。
- ・売店、食堂に力を入れてほしいです。食堂はあまり利用したいと思わないメニューや価格であるように思われる。またとても狭く暗く、古い感じがします。同様の声をよく耳にします。「食」はとても大事です。是非考えてください。
ランチサポートのような弁当も取り入れてほしいです。
- ・学校内にエレベーターを設置してほしい。
- ・私立としての環境に満足できない。他の私立に比べて残念である。
- ・トイレが綺麗になり喜んでいきます。

〔 校長所見 〕

たくさんのご意見、ありがとうございました。

学校生活全般に関する項目では、全体的に高い評価を頂きました。ありがとうございました。ただ、授業について一部わかりにくい授業や、うるさい授業があるとのことご指摘は真摯に受け止め、教員の意識改革を始め、改善を図って参ります。また、ホームページにおける情報発信につきましても、更新回数を増やすなどして生徒の学校生活がよく伝わりますように、改善して参ります。

◎進路指導・生徒指導について

進路指導につきましては、進路に関する情報提供の不足がデータから読み取れますので、本年度はしっかりと情報発信を心がけます。本校は、生徒の多様な進路に答えられるように、きめ細かい進路指導体制を取っております。よろしくご理解下さい。

本校の生徒指導の方針に、多数の保護者の方々の理解・共感を頂いていますこと、感謝申し上げます。携帯電話につきましては、本校では持ち込み禁止の方針で指導していますが、時代状況も考えながら今後どのようにすればいいのか、検討を重ねて参ります。

◎学校環境・設備について

校舎の耐震につきましては、5年前に建設会社2社に耐震調査を依頼致しました。本校は新耐震基準をクリアしています。その際、校舎前面のタイルについて、地震の際はがれ落ちてくる危険を指摘されましたので、外壁工事の際に対策を講じています。施設設備の充実面については、昨年夏に校舎内壁の全面改修を行いました。また、西館3・4階の生徒トイレの改修も済んでいます。この夏は、引き続き外壁工事および本館1階の生徒トイレの改修工事を予定しています。それに伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まりましたが、更に実践的態度の育成に努めて参ります。食堂につきましては、抜本的な改革に向けて検討して参ります。

◎62名の保護者の方々からご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

今後の教育活動に役立てて参ります。

(3) 学校関係者評価会からの意見 [平成29年4月1日実施]

出席者 堺市福田校区自治連合会長
堺市西陶器校区自治連合会長
堺市東陶器校区自治連合会長
精華高等学校保護者会長
精華高等学校同窓会長
精華高等学校校長
精華高等学校教頭（2名）
精華高等学校事務長
精華高等学校生徒指導部長
精華高等学校進路指導部長

[校長より]

・今年度の進学実績について

関大、関学大、青山学院大等への進学が確定した。また一般に産近甲龍とよばれる関西の有名私学への進学を達成した生徒も出てきている。しかし、保護者からは、今以上に進学情報の提供を望む声があるため、新年度の課題としたい。

・日々の教育活動では、生徒に落ち着きが見られる。また新制服への移行が地域の方々によい印象を与えていると考えている。大切な授業の充実をしっかりと図りたい。

・地域の皆様の働きかけのおかげで、堺市が通学路に歩行者線（白線）を引いてくれた。感謝するとともに、生徒の通学マナーの向上を目指したい。

・学校自己評価結果説明

教職員による自己評価が、厳しい結果となった。特に「教育目標が浸透していない」「学校の社会的評価が低い」という2点が懸念事項である。進学率の向上、クラブ活動の活性化を図り対処していく。また情報（ICT）教育の遅れについては、的確に予算を計上して、社会の要求に対応したい。更に人権教育、環境教育にも不安があるため、改善する。

学校施設については、引き続きトイレの改修に取り組む。評価の低い食育に関わる「学校食堂」については大きな課題として、抜本的に見直す。

[地域からの意見]

・学校知名度の上昇には、何かに特化した教育が必要ではないか。

・生徒はしっかりしてきている。挨拶や礼儀が良くなった。卒業式に出席したが、学校全体に頑張っている感じが出ている。

・こういった評価結果をしっかりと反映して行ってほしい。全てに対応していくことは困難であろうが、社会人になるための教育は絶対的に必要である。

◎学校自己評価から

〔保護者会からの意見〕

- ・学校として、非常にバランスがよい。私学として理想的な姿勢が見られる。また保護者会としては、各教員がいろいろな生徒に対応してもらっているので、安心感がある。更に、生徒が熱中できるものに取り組んでいただきたい。教職員の質の良さは、卒業式が証明している。
- ・生徒の競争心を育てる教育に取り組んではどうか。目的意識の低い生徒が多い。保護者との協力のもと、しっかりと取り組んでほしい。

〔同窓会からの意見〕

- ・期待値が低い生徒や保護者の対応はどうなっているのか。
- ・教職員の外部訪問者に対する挨拶ができていない。過去に比べると良くなっているが、改善すべきである。
- ・愛校心が少ない現状をどう改善していくのか。同窓会としても課題に感じている。
- ・以前（過去）の就職率は、素晴らしかった。学校のアピールポイントになるはずである。進学だけではない学校を目指してほしい。
- ・成績評価基準が低いのではないか。
- ・思い切って、学校名の変更に取り組んではどうか。

〔学内の感想〕

入学生は 349 名を確保したが、受験者数が著しく減少した。学園として危機感を持っている。広報活動を強化して、積極的な学校アピールを行いたい。

学校の核は授業にある。授業の充実こそが、最大の学校アピールになる。コース制を充実させ、部活動を活性化して、生徒の成長に繋げたい。

総合評価

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という体制は堅持したい。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。保護者からの要望の強かった進路の情報発信はしっかり行う。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に充実した、きめ細かい学習指導を行いたい。

建学の精神（教育目標）が、学校関係者に浸透していない。また、生徒の愛校心も低い状況にあると、教職員は認識している。本校の社会的評価を上げるために、進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進めることにより、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行いたい。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、国際交流室を中心に引き続き取り組む。教員研修、教員の資質向上についても更に充実させなければならない。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校を目指す。また、時代の要請に応えるため、時代が求める新しい教育にも取り組んでいく。

※ これらの結果を更にまとめて、本校ホームページに掲載するとともに、大阪府教育庁私学課へ報告致します。